

◆【効果音：人混みのざわざわ】

◆【効果音：近付く足音】

◆【効果音：ぶつかる】

娘「◆【位置：正面・中距離】

◆【演技：べろべろに酔っ払ってふらふら】

うあ……っ。

うう、っへっうっう……。

す、すいません……っ。」「めんなさい……っ。

ちよっと、飲み過ぎちゃって……。

あ、足、ふらついちゃってえ……。

お怪我はない、ですか……っ？

うう、うあうう……。

そ、そうですね。よかったです……。

なら……か、肩、貸してもらっていいですか……？

わ、私の方がちょっと、げ、限界でえ……。

◆【移動：右耳・近距離】

ううう……。

あ、ありがとうございます……。

はあ、はあ……。

ぶつかっちゃったのに、わざわざ助けてくれて……。

優しいんですねえ……。ふふふ……。

それなら……。

◆【囁き】

このまま、ホテルまで……♡

連れてってもらって、いいですか……？

ええ……。そうですね……♡

ホテル、です……♡

◆【囁き ニじみず】

うえっふ……。

駅前のビジネスホテルに、部屋、借りてるんで……。っ。

そこまで連れてって下さい……。っ。

うっう……。っ。

ホント、めんなさい……。っ。

へあ、はあ、うっううっう……。っ。

(場面転換)

◆【効果音::ドア開く】

ああ、はい、いいです、11の部屋……。

ありがとうございます……。っ。

うっう……。っ。

◆【効果音::ドア閉じる】

母「◆【位置：正面・中距離】

ふふふ……。

よくやったわ、アスタルテ。

さすが私の娘ねえ」

娘「◆【演技：一気にシャキツとする】

ありがとうございます、お母さん。

このぐらい簡単よ。

ねえ、お優しいお兄さん？

◆【移動：正面・中距離】

「ここまで連れてきてくれてありがとうございます。

おかげでさうう手間がはぶけたわ」

母「まずは自己紹介でもしましょうか。

私はリリス。見ての通り……。

◆【効果音：翼を拡げる音】

サキユバスよ。ふふふ……。

そして、そこにいるのが……」

娘「その娘のアスタルテ。

もちろん、私もサキユバスよ。

ほら、尻尾も生えてるの、見える？

上手に人間に化けていたでしょう。

得意なの、そういうこと」

◆【効果音：鍵のかかったドアを開けようとする】

母「ムダよ、そんなことをしたって。

あなたはもう、ここからは出られない」

娘「ううん、出る必要もなくなるの。

だって……。

あなたは今から、私たちに……っ♡

◆【効果音::ヘッド軌む音】

◆【移動::正面・近距離】

っはあ……っ♡

◆【移動::右耳・近距離】

いつ……ぱい、おチンポ……♡逆レイプされて……♡
キンタマ空っぽになるまで、搾り取られちゃうんだから……♡
ふふふ……♡」

母「◆【移動::左耳・近距離】

だけど大丈夫……。安心なさい。

命までは取らないわ。

ただ……無理矢理ザーメン搾られすぎて、

おチンポはぶっ壊れちゃうかもしれないけどね。

それでもいいでしょう？

だって、それぐらいたあっぷり……♡

おチンポ気持ちよくしてもらえるって「と」なんだから♡
ねえ、お兄さん?」

娘「んっはあ……っ♡

説明はこれで充分よね?

私たち、もう二日も精液搾ってないから、

お腹減っちゃってるの……っ♡

とりあえずは一発……っ♡

ザーメンぶっこ抜かせてもらっからね……っ♡「

母「一生忘れられない体験……♡

おチンポに与えてあげるからね……っ♡

覚悟しなさい……っ♡

ふふふふふ……っ♡「

2

娘「◆【位置:右耳・近距離】

あは。お兄さんの、「・」……。

おチンポ、勃起しちゃってる。

顔はすっかり怯え切っちゃってるのに。

どうしたのかなあ……？」

母「怖がったふりなんてして、本当は期待しているのかしら。

行けない人……。

なあんて……。ふふふ……。

本当は、私たちのせい……。

サキユバスが放つフェロモンが、したくもないのに、

おチンポ無理矢理勃起させてるだけだものねえ」

娘「でも、本当にそうかしら。

もしかしたら、フェロモンなんて関係なく、

ただただおチンポ発情しちゃってるだけかもね。

ふふふ……っ♡」

母「それならそれで構わないわよね？・

私たちにおチンポ、

ぶっこ抜いてもらいたいってことだから……っ♡
さあ、始めるわよ。

◆【移動：正面・下（フェラ用の距離）

】

まずはあなたのおチンポ、このお口で……」

娘」◆【移動：正面・下（フェラ用の距離）

】

軽うくおしやぶりをさせてもらっから。

◆【効果音：ズボン脱ぐ】

ふふ……っ♡

美味しそうな勃起おチンポ……っ♡

いただきます……っ♡

（フェラ）

んじゅ、んぶ、んつへ、ちゅぶ、ちゅぶ、ちゅぶ……♡

っはあ……っ♡

あはあ……っ♡思った通り……っ♡

すっごく美味しい……っ♡「♡♡」

母「私も味わわせてもらっわよ。

んうあ……っ♡

(フエフ)

……あぶ、んぶ、んつちゅ、んじゅ、ちゅっぶ♡

んっへあ……っ♡

はあああ……っ♡

ふふ、本当……っ♡

おチンポ臭、濃厚ねえ……♡

こんなに美味しいおチンポも、久しぶり……っ♡「♡

娘「しゃぶりがいがあるわあ……っ♡

んっうあ……っ♡

(フエフ)

んっ、れろ、えろ……んっ、ちゅ、ちゅっ、あう、れる、れろ……♡

っへあ……っ♡

亀頭もぱんぱんに膨らんでえ……っ♡

お口の中、いっぱいになっちゃっ♡「♡

母「こっちの方もすばらしいわ……っ♡

キンタマずっしり重たくて、精子が詰まって、ぱんぱん……っ♡

お兄さん、最近ご無沙汰？

それとももしかして……童貞さん？

あは、だしたら大当たりねえ、アスタルテ。

丁寧に、丁寧に……。

おチンポ搾り取ってあげないとお……っ♡

(フエフ)

んぶ、んじゅ、じゅるる……っ、ちゅ、あん、ちゅ、んちゅ、ちゅぶ

ちゅ♡

(啜えたまま鼻呼吸)

あは、カウパーどぐどぐ、止まらない……っ♡

もしかして、もうイッちゃいますっ……

(フエフ)

ぐっぐっ、ぐっぽ、ぐん、ぐん、んじゅ、んじゅっ、んじゅっ……♡

サキュバスフェエでおチンポ限界みたいね。

でも、恥ずかしくなんてないから、安心して。

童貞だろうと、ヤリチンだろうと……。

サキュバスにおチンポしゃぶられちゃったら、

我慢なんて絶対に、できないから……っ♡

(フエフ)

ちゅぶ、ちゅ、んちゅ、ちゅぶちゅ、んじゅ、んちゅ、んっぐ、ぐん

……♡

※二人同時

娘「(フエフ)

ん、ちゅぶ、じゅぶ……ん、んぶ、んぶ、んじゅ、んじゅぶ、んじゅ

……♡

(啜えたまま鼻呼吸)

んっぶっ、んっぶっ、んっぶっ……っ♡

(フエフ)

んんっ、ちゅぶぶ、じゅぶぶ……んん、んぶぶ、んぶぶ、じゅん、んじゅぶ、んじゅ……っ♡」

母「ほら、ほっら。

出しちゃいなさい。イッちゃいなさい。

サキユバスフエフでおチンポ射精。

くっさいザーメンぶびゅぶびゅ出っ、

私たちに美味しい精液、ちそうしなさい……っ♡

さあ、さあ、ほらほら、ほっら……っ♡

イケ、イケ、イケ、イケ、イケ、イケえ……っ♡」

◆【効果音::射精】

娘「(口内射精)

んっうん……っ♡

んっうん、んっうん、んっうん、んっうん、んっうん……っ♡

無理矢理搾り取るのが、サキュバスってものでしょう？

んうあ……っ♡

(フエラ・激しく)

じゅるる、ちゅぷぷっぽ、ぷっぷ……♡ ちゅ、ちゅる、ちゅっ、
じゅ、じゅっ、ちゅっっ……♡ 「♡

※二人同時

娘「あはあっ。出た出た。

お母さんの本気フエラ。

空っぽキンタマからでも、精通前のおちんちんでも、

無理矢理ザー汁嚙り出す、抵抗不可能バキュームフエラ……っ♡

我慢なんて無理。

イツたばかりなのにまたイツちゃう。

出る出る出る出る。イクイクイク……っ♡

ほっっ、出せ、出せ、出せ……♡ 「♡

母「フエラ・激しく」

んっ、ちゅ、んちゅ、んっへ、んっへ、んちゅっ、ちゅ、ちゅ、ちゅっ、
ちゅっ、んちゅ、んちゅへ……♡

つは……♡
ふっ、はっ、ふっ、ふっ……♡

んう、れる、れろ、れろれろ……えろ……んちゅ、れろ……♡

んっ、んっふっ、んっふっ、んっうっ、んっうっん……っ♡

◆【効果音】射精

(咥えたまま鼻呼吸)

♡

んうん、い、きゅ、い、きゅ、い、うへん……っ♡

ぷっはあ……。ああ……。

本当、すごいいい味ねえ……。

精子がいっぱい詰まった、ぷりっぷりの新鮮ザーメン……っ♡

久しぶりの精飲……っ♡ 染み渡るわあ……」

娘「ふふふ……。おチンポがぐぐ、震えちゃって。

ほらほら、お母さん。

残り汁もちゃんと啜ってあげないと」

母「わかってるわよ。

中のも外のも、しっかり全部……。

んうあ……。っ♡

※二人同時

娘「フエッ・ゆっくり」

んあう、んちゅ、れる、んうん、えあ、えろっ……。っ♡

母「フエッ・ゆっくり」

うん、れる……。れろ、ぐちゅ、ぐちゅ、れろれろ……。っ♡

娘「つはあ……。

ふう、はあ、ふう、ふうう……」

母「ふうふう……。

とりあえず、最初はこんなものかしら。

どう、お兄さん？

サキユバスにおチンポ搾られた感想は「

娘」と言っても……まだまだこんなものじゃあないけどね。

あっさり壊れてもらっても面白くないんだから……。

しっかり耐えてよね。

童貞お兄さん。ふうふうふう……」

母「◆【位置：正面・近距離】

ほうら、お兄さん。

何をくらくらしてるのっ。

連続二発、ぶっこ抜かれちゃったぐらいでねえ……。ふふふ……。
しっかり立ってくれないと、続きが出来ないでしょうっ？

◆【移動：右耳・近距離】

はい、ぎゅっ……。。

こうして抱きしめていてあげるから……。

倒れないように、ね

娘「◆【移動：左耳・近距離】

なら、私は後ろから、ぎゅっ。

親子サキュバスに挟まれて、うれしいよねえ？」「

母「胸にも背中にも、やわらかおっぱい、

たっぷりぎゅっぎゅっ……。

私たちの、フェロモンたっぷりのサキュバス臭……。

いっぱいぐんぐんしちゃってねえ……」

娘「嗅ぐ」

すっ……っ♡っはぁ……。

「こっちもお兄さんの匂い、

いっぱい嗅がせてもらっからな。

ふふふ……」

母「ほうら、フェロモンたっぷり嗅いじゃって……。

おチンポ、あっという間に回復しちゃった。

私のお腹にぐりぐり当たって……。

早くここに、ザーメンぶっこみたあいつて……。

おチンポわくわくしちゃってるのね……。

私もよ。私も早く、あなたの精液、

「このお腹の奥でいっぱい受け止めてあげたいけど……」。

◆【囁き】

でも、まだだあめ……。

お腹はかなり空いちゃってるけど……。

だからこそ、入念におチンポ、気持ちよくしてあげて……。

とびつきりに濃い精液……搾り出させてあげないとねえ……」

娘「◆【囁き】

お兄さんの童貞キンタマ、まだまだ全然元気だもんねえ……。

サキュバスフェロモン関係なく、

お兄さんのおチンポが優秀すぎて……。

おチンポがドスケベすぎて……えっちなこと、まだまだし足りなくってねえ……。

あは……」

母「ほら……これ、なあんだ。

そう……サキュバスの尻尾。

この尻尾つて、いろいろ便利なのよ。

例えば、こうするとお……。ほつら……。

尻尾の先端から、とろつとろの液体……。

サキュバスフェロモンたっぷりのローションが、

たっぷり出てきちゃう……。

これをお兄さんのおチンポに、たっぷりぶっかけてえ……。ふふふ……。

匂いだけでもキンタマ熱くなっちゃうフェロモンが、

おチンポたっぷりにまぶされちゃって……。

どんどん敏感になってるでしょっつ。

早くどうにかしてほしい。

おチンポしこしこ、おしゃぶり、おまんこ、なんでもいいから……。

早くおチンポいじめてほしいって気持ち、

どんどん高まっちゃう……。

おチンポびくびくおねだり止まんない……。

はあい、どっぞお……。

そんなわがままおチンポはあ……。

私のむっちり太ももの中に、ご案内……。

◆【効果音：太もも挿入・ローションの音】

はい、ぶっちゅん……。

ローションでぬるぬるの太ももはいかが？

おチンポむっちり挟み込まれて、気持ちよすぎて、

「このままでだってぴゅっぴゅできちゃいそつべじゅっべ」

娘「お母さんの太もも、温かくって、柔らかくって……。

人間のおまんこほとんど変わんない……。

サキユバス太もまんこでおチンポしごかれちゃったら、

それはもう、セックスみたいなものの。

めいっぱい、楽しんじゃっていいからねえ……。

私はここでえ……。ほづら……。

乳首くりくり、いじってあげるから……。

お母さんと、太ももセックス……。

おチンポたくさん気持ちよくなろうねえ……」

◆【効果音：ローション素股 開始】

母「ぐっちゅ、ぐっちゅ、ぐっちゅ、ぐっちゅ……。

太もも前後に振り振り動かして、おチンポ搾り……。

につちゅ、につちゅ、ずっちゅ、ずっちゅ……。

ローションまみれの太ももに、おチンポしごかれるの、

気持ちいいわねえ……。

身体はぎゅっつてもつといっぱい抱きしめてえ……。

サキユバスおっぱい、いっぱい味わえて……。オラにおチンポ興奮止まらない……」

娘「ふふ……。おチンポよすぎて、喘ぎ声、出ちゃってるんだ。

いいよ、もつと喘いじゃって。我慢は身体に毒だよ？

気持ちいいんだから……。

あんあん、やんやん。たっぷり泣かないと……。

ほうら、乳首ももつといじってあげるから。

先っぽかりかり、かりかりかり。

摘まんでくりくり、こりこりつねえってねえ……。

オス乳首いっぱい感じちゃうねえ。

おチンポにもキンタマにも快感走って、

ぞくぞく止まらない……」

母「おチンポびくびく、太ももの中で暴れちゃってえ……。

ーこおら、だあめ……。

そんなにしたら、太ももからおチンポ飛びでていっちゃう。

◆【移動：正面・近距離】

ほら、太ももぎゅっぎゅう……。

もつと強おく挟み込んだじゃうから……。

「こうすれば、暴れたくても暴れられないでしょう？」

ふふ……「

娘」乳首、すっごく硬くなっちゃってるよ。

ふふ、こんなに勃起して……美味しそう。

食べちゃおっかなあ……。

◆【移動：正面・近距離・右寄り】

ほら、私の舌……さっきおチンポでたんまり感じた、

サキユバスの舌の感触、思い出して。

これで、お兄さんの乳首い……。

んうあ……っ♡

(右乳首舐め)

あむ、ん、ちゅう、れる、んちゅ……ちゅるるる、めじゅる……♡

っはあ……っ♡っぱい舐めてあげる。

ふふふ……っ♡」

※二人同時

母「っあんっ。ふふふ……。

娘に乳首舐められて、おチンポがまたびくびくびくっ……。

もしかして、精液昇ってきちゃってる？

さつきから、おチンポどくどく、脈打って……。

イキたい、イキたい、おチンポ出したい。

射精したいよお、って……。甘えてきちゃってる……。

いいわよ、出しても。

私の太ももに挟まれて、たんまりお漏らし……。

おチンポイクイク、しちゃいましょうねえ……。

ほぅら……。

(ディープキス)

はあん、んう、ちゅっ、ちゅっ、んう……♡んっ、ちゅ、ん、ちゅっ、ちゅ、ちゅ……♡

いっぱいキスしてあげるから……。

ねっとりディープキスで、お口の中まで犯されて……。

たつぷりぴゅっぴゅ、しちやいなわい……っ♡

娘「(右乳首舐め・ループ)

れる、んあ、れろれろ、ちゅ、ちゅぱ、れる……♡ んっちゅ、ちゅる

るる♡

※二人同時

母「ディープキス・ループ」

ちゅ、ぶちゅ、ぢゅる、ちゅる、ちゅっ♡ ぢゅ、じゅる、ぢゅる、ん

ちゅう……っ♡

娘「ふふふ……っ♡

◆【移動：正面・近距離・左寄り】

なら、私も……。おチンポイクまで……。

うっん、イッてる間も、射精が止まるまでずっと、

乳首にゆるにゆる舐めててあげる。

ほら、出しちゃえ出しちゃえ。

乳首ぺろぺろ舐められながら、オス汁ザーメン、いっぱい漏らせ……

…っ♡

◆【囁き ニュウまど】

※二人同時

母「どっぞ、どっぞ。おチンポどっぞ。

お射精しちやいなさい。

サキュバス太ももにおチンポむぎゅむぎゅ挟まれて……。

人間おまんこよりも気持ちいい、太もまんこで、

たっぷりお漏らし……。

キンタマザー汁どばどば出して、精子たっぷりイカ臭優秀子種汁、
私たちに食べられちやいなさい。

(ディープキス)

んあう、んぐ、んちゅっ、じゅちゅ、ちゅっうっ……♡ はあん、んう、
ちゅっ、ちゅっうっ、んう……♡

ほら、ほら、出せ、出せ。

イケ、イケ、イケイケ、イケイケ。

おチンポ、イ・ケ……っ♡

◆【効果音::射精】

はい、びゅーびゅーびゅー……。

どぽんどぽんどぽんっびゅう……。

出る出る、出る出る、おチンポ止まんない……。

イキながら乳首舐められて、イッてるおチンポぐちゅぐちゅ「すう
れて、

ザーメンどばどば、たっぷり吐き出して……。

脳みそバカになっちゃうくらい気持ちいい、気持ちいい……。

(ディープキス)

ん、ちゅっ、ちゅ、ちゅっ、れる、んちゅ、ちゅ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅ

っ……♡

っはぁ……。っ

ふふふふふふふふ……。っ

◆【囁き「リリキメド」】

娘「◆【移動：正面・下（フェラ用の距離）】

お母さんだけにはやらせないよ。

私も精液、もっとほしいんだから」

母「ふふ、なら、親子同時に……。

おチンポペろペろ、しちゃいましょうか」

娘「うん。行くよ、お兄さん。

は〜あ……っ♡」

※二人同時

母「フェラ・舐める」

くちゅぐちゅ、じゅじゅ、ちゅるちゅる、ねろねろ……っ♡」

娘「フェラ・舐める」

れる、んあ、れろれろ、ちゅ、ちゅば、れる……んちゅ……っ♡」

母「っはあ、精子の味、美味し……っ♡」

※二人同時

母「フエエラ・舐める」

れる、んあ、れろれろ、ちゅ、ちゅぱ、ちゅぷ、じゅるる、れる……♡

娘「フエエラ・舐める」

ちゅ、ちゅる、じゅる、じゅるる、れるれろ、ちゅぷ、ちゅっ……♡

「♡

母「っふう……」。

◆【移動：正面・近距離・右寄り】

ほっら……。今度は私も、お兄さんの乳首……。

たっぷりぺろぺろお……。

んうえあ……。

（右乳首舐め）

あん、れる、れろれろ、えろ、れろ、れる……♡

「っふう……」

娘「◆【移動：正面・近距離・左寄り】

「こつちもまた行くよ？」

勃起乳首、たつぷりしゃぶってあげる。

（左乳首舐め）

ん、ちゅ……、んう……、えろ、えろ、れろ、れる……、れる……えろ、れろ……♡

っはああ……」

※二人同時

母「（右乳首舐め）

じゅ、れろ、れるれろ、はあ、んふう……♡

娘「（左乳首舐め）

えろ、れる……じゅるる。じゅっ……♡

母「唾液たつぷりの乳首、かりかりかり。

ぐっぐっぐっぐ……。」

「お口以外でもたっぷりいじめて……っ♡」

娘「乳首だけでもおチンポ、

いっぱい感じちゃうようにしてあげる……っ♡

ほうら、かりかりこりこり。

[illegible]

※二人同時

母「(右乳首舐め)」

ちゅ、ちゅる、じゅる、ちゅ、ちゅ……♡」

娘「（左乳首舐め）

「んちゅ、ちゅる、じゅるる、ちゅる、えろ……♡」

母「ぬるぬる乳首、指先でにゅくん、にゅくんつて……。

乳首も乳輪も、たつぷり撫で回されてえ……」

娘「乳首弾いて、くっくくくくく……っ♡

オス乳首レイプ気持ちよすぎい……。――

「ほら、ほら、もっと喘いで。えっちな声、たつくさん聞かせてえ……」

そうしたら、直に飲んであげられたのに」

娘◆【移動：正面・下（フェラ用の距離）】

そうそう。次からは、おチンポイキます、って。先に言っじや。

ちゃんとしなさいよね。

んうあ……」

※二人同時

母「フェラ・舐める」

じゅる、くちゅぐちゅ、じゅじゅ、れるれる、はあ、んふう……えろ、
れる……♡」

娘「フェラ・舐める」

んちゅ、れる……あ……うん、れる……れる、ぐちゅ、くちゅ、れる
れる……♡」

母「つはあ……」。

それじゃあ、わかってくれたと」ろで……」

娘「お兄さんも念願の、おまんこえっち……」。

始めちゃおっか」

母「お兄さんの新鮮ザーメン、

サキユバス親子のおまんこにい……」

娘「お腹いっぱいになるまで注いでもらうから。

満足する前許さないから……そのつもりでね？ ふふふふふ……」

4

◆【効果音::ベッド軋む音】

娘「◆【位置::正面・中距離】

行くわよ、童貞お兄さん。

体位はもちろん騎乗位で……おチンポたっぷり、

搾り尽くしてあげる」

母「◆【移動：正面・近距離】

アスタルテのおまんこは気持ちいいわよ。

人間おまんこなんかと比べものにならないくらい……。

と言っても、お兄さんは人間のすら味わったことないみたいだから、
わからないでしょうけど。

ふふふ……」

娘「わからなくても問題ないからね。

どうせろくに我慢なんか出来ずに、

あつという間にお漏らししちゃったから。

まあ、今はむしろ、その方がうれしいけどね。

もうお腹ぺこぺこで、死んじやいそうだから……っ♡

ああ、喋るのも面倒になってきた……っ♡

とつとと始めるからね「♡っ

母「よく見てなさいね。

あなたのおチンポが、サキュバスおまんこに食べられちゃうところ

♡

あなたの童貞、サキュバス相手に捨てちゃうところ……っ♡「♡

娘「◆【効果音::水音】

んうあ……っ♡はあ、はああ……っ♡

◆【効果音::挿入】

んっうんうあ……っ♡はっああ……っ♡

ああ、おチンポお……っ♡

いい……っ♡これ、すっぐ……っ♡

想像以上の、優秀おチンポお……っ♡

くうううん……っ♡

◆【効果音::セックス・激しく 開始】

んんっ……んあ、あん、んっ、あ、ああ、ううっ♡

うん、あん、あんっ、あ、あっ、うん、んっ、んっく、んっふ……っ♡

※次の台詞まで喘ぎ声継続

母「あらあら、この子ったら。

童貞卒業の余韻も与えずに、本気ピストン始めちゃって……。

ふふ、どっ？ おまんこ気持ちいいでしょう？

先に数発抜いてもらってなければ、

入れただけでも射精しちゃってたってぐらい、

にゆるにゆるキツキツ、おチンポじゅっぷり啜え込む、

いやらしいおチンポ搾りまんこ……っ♡

辛そうなのが顔に出てるわよ。

フェロモンたっぷりの愛液がおチンポに絡みついて、

あなたの体内にもどんどん吸収されちゃって……。

おチンポ興奮止まらない……っ♡勃起も全然止まらない……っ♡

アスタルテの中で、どんどん膨らんでいく……っ♡

ふふふふ……っ♡

(ディープキス)

ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ……っ♡ んん、ち

ゅば、ちゅっ、ん、んぐ、んっ……っ♡

っはあ……っ♡

ああ、かわいいわ……っ♡

早く私も、あなたのおチンポ、食べてみたい……っ♡

(ディープキス)

ん、ちゅっ、ちゅ、ちゅっ……………♡ れる、んちゅ、ちゅ……………じゅ、ん、ちゅ……………♡

っふっ、はぁ、はぁぁ……………「♡」

娘「あはぁっ……………あぁんっ、ぁんっ、い、や、やん♡

んぁう、ぁう、ぁん、ぁんっ、んぁっ、んぁっ……………♡

んぁっ、ぁん、んくっ、んっ……………♡

くっくっくっん……………♡

ほらっ、ほらっ。我慢なんてっ、するんじゃないわよ……………♡

とっくとザーメンっ、私の中にぶちまけなさい……………♡

初めてのセックス、楽しもうとか……………♡

私のおまんこの感触、覚えたいとか……………♡

そういうムダなこと考えてるんだなら、諦めなさい……………♡

とっくとキンタマ爆発させて……………♡

びゅーびゅーザーメン吐き出してえ……………♡

私のお腹、いっぱいにするの……………♡

ほらっ、ほらっ。おまんこぎゅっぎゅっ、締め付けてやる……………っ

♡

絶対おチンポ我慢できないようにっ……っ♡

チンポ汁全部っ、射精し尽くすべっらいにっ……っ♡

んあ、ああん、あっ、あんっ、んう、んあ、んあっ♡

あっ、あっ、あっ、あっ……っ♡

はっあああ……っ♡「

※喘ぎ声継続

母「あは……っ♡ザーメンどんどん迫ってきてるわねえ……っ♡

我慢なんて絶対無理……っ♡

サキユバスおまんこ味わうことなんて、

人間には不可能なのよ……っ♡

さあ、出しなさい……っ♡射精しなさい……っ♡

そのためにあなたを、ここに誘い出したんだから……っ♡

私たちに、美味しいごはん……っ♡

提供するためにねえ……っ♡

(ディープキス)

んぶ、んちゅっ、じゅちゅ、ちゅうちゅっ、ちゅ、ちゅ♡

さあ、出せ、出せ、出せ……っ♡

おチンポイケっ、イキなさい……っ♡

サキュバスおまんこ、お腹いっぱいになるまでえ……っ♡

どばどばびゅーびゅーげえんぞう出すのめ……っ♡

(ディープキス)

んあ、んちゅ、ちゅ、んじゅ、じゅっ、ちゅ、ちゅっ……♡

イケ、イケ、イケ、イケ、イケ、イケえ……っ♡「

娘「んっ、あん、んあ、あっく、んっく、んぢぢ♡

いあ、ん、んうっ、んあ、んあう……♡

出せっ、出せっ、出せ出せ出せ……っ♡

うっうっあっ、はっああっ、んっうっんっ、

くっうっうああ……っ♡

おチンポ、イッケええ……っ♡

◆【効果音::射精】◆【効果音::セックス停止】

あっあああ……っ♡

はあああああ……っ♡ふっふっふっ、はああああ……っ♡

んうあっ、っ、っ、っ……っ♡

熱いのっぱい、中にっ、あああ……っ♡

これ、これえ……っ♡精液、たっぷりい……っ♡

美味しいザーメン、っ、っ、っ、飲み干すの……っ♡

最っ高おお……っ♡

っはあ、っはあ、はっあ、はああ……っ♡

ふー……っ♡ふー……っ♡ふー……っ♡ふっふっふっ……っ♡

◆【効果音：ペニス引き抜く】

んうっあ……っ♡はあ、はあ、はああ……っ♡

ふふふふふ……っ♡「♡」

母「ほら、アスタルテ。次は私の番なんだから、早くして……っ♡

私のお腹も限界なの……っ♡

久しぶりの精液……っ♡早く味わいたくって……っ♡「♡

娘「わかってるってえ……っ♡

ふふふ……。

◆【移動：正面・近距離】

精液、すっごく美味しかったよ、お兄さん。

次はそれ……お母さんにもおんなじぐらい、

出してあげてよね。

出来るでしょ？ 無理とは、言わせない……っ♡ふふ……っ♡「♡

母「◆【移動：正面・中距離】

はあ、はあ……っ♡

ああ、びくびく動くおチンポ……っ♡

美味しそう……っ♡

おチンポのお口もひくひくって、

精液まだ、出し足りなそうに動いてる……っ♡

心配ないわ……っ♡またすぐに射精させてあげる……っ♡

キンタマ空っぽになっちゃダメ、

たっぷり、どっぴり、一気に、ぶちまけてあげるっ♡っ♡

◆【効果音：挿入】

はっああっあああ……っ♡

んっあっ、くっうっん……っ♡

あああ、久々おチンポお……っ♡

っくっうっうっ……っ♡

◆【効果音:セックス・激しく 開始】

んっ、ああ、ああんっ、あんっ、いや、やん♡

んあう、あう、あん、あんっ、んあっ、んあうっ……♡

あっあああ……っ♡

美味しいっ、美味しいわっ。

久しぶりのおチンポの味い……っ♡

おまんこピストン、止められない……っ♡「♡

※喘ぎ声継続

娘「どうかな、お兄さん。

お母さんのおまんこは。

数百年、おチンポ食べ続けたおまんこだから、

私のたった100年ちよいの若いおまんこよりは、ちよっつとゆめ

めかなあ？

だけどその分、中がこなれて、おチンポねつとり絡みついて、

気持ちいいでしょう？

そこに鍛えられたテクニックも合わさればあ、

私なんかよりよっぽど、ザーメン吸い上げる力も強くって……。

大量中出し直後のお疲れおチンポでも、

あつという間にお漏らしさせられちゃつぷお……っっ♡

(ディープキス)

んぶ、んちゅっ、じゅちゅ、ちゅうちゅっ、ちゅ、ちゅ♡

あはあ……っ♡

だけど大丈夫……っ♡キンタマ空っぽにされるまで、

おチンポ搾り上げちゃっても、死にはしないから……っ♡

ただただ気持ちいいだけ……っ♡

死にそうなくらい、強制的に気持ちよくされちゃうだけ……っ♡

♡

(ディープキス)

んあ、んちゅ、ちゅ、んじゅ、じゅっ、ちゅ、ちゅっ……♡

「ふふふふふ……っ♡」

母「うっく、うぐ、うあ、うあん、あん、はあつ、あはつ、あはあつ……」

あっ、ああっ、あっ、はあっ、あんっ、あん、あんっ、やんっ、ふあっ♡

あつ、あつい、んあ、ああん、あつ、あんつ♡

んう、んあ、んあっ、あっ、あっ、あっ、あっ、あっ……♡

はっ、はっ、はっあっ、んっうん……っ♡

ああつ、
いいわつ。

あなたのおチンプ、形もつ、大きさもつ、私好み……っ♡

精液の質もなかなかよかったけどお……っ♡

こっちの方までっ、相性いいなんて……っ♡ はっあああ……っ

これでようやく……っ♡ 魔界に戻る危険を冒してまでっ、

人間界にきた甲斐もつ、あったわねえ……っ♡

あなたのおチンポさえあればっ、もう……っ♡

お腹ぺこぺこになることだって、ないものね……っ♡

しかもこんなにつ、おまんこっ、気持ちよくなれるんなら……っ♡

「つあああ……っ♡」

※喘ぎ声継続

娘「ふふ……。やっぱり、私ともお母さんとも、

おチンポの相性はばっちりみたいね。

何日もおチンポ絶食して、ようやく巡り会えた、

あなたっていう逸材……っ♡

絶対逃がしてやらないからね……っ♡

あなたはもう、ずっと私たちのおチンポ係……っ♡

私たちのお腹を満たすためにザーメンタンク……っ♡

お腹が空いたらすぐ、おまんこに、

精液中出しするただけに生きてもらうから……っ♡

今までの生活には戻れないからねえ……っ♡

(ディープキス)

ん……れる、んちゅ、ちゅ……じゅ、ん、ちゅ……ちゅっ♡

別にいいでしょうっ？

その分あなたも、いっぱい気持ちよくなれるんだから……っ♡

サキュバスおまんこいつでもセックスできて、

中出しし放題……っ♡

他にもいっぱい気持ちいいことし放題、され放題……っ♡

オスにとって、これ以上の天国なんてないでしょう……っ♡

あはあ……っ♡

(ディープキス)

ぢゅ、んぢゅ……れる、あん……んう、ん……ちゅ……♡

ほうら、だからまずは景気づけに、大きいの一発……っ♡

お母さんのおまんこに、中出ししなさい……っ♡

私と同じく、すっからかんのお腹、一杯になるまで……っ♡

射精しなさい……っ♡「♡」

母「そう、よ……っ♡出しなさい……っ♡

あなたの精液の味……っ♡

とっても美味しいってわかってるけど……っ♡

それでも改めて、おまんこで味見してあげるからあ……っ♡

んっっん……っ♡

ん、っく、ん、んぶう、んあ、あう……♡

ひあ、あ、んあっ、ああっ、っうあっ……♡

キンタマの中身、全部……っ♡私のおまんこに出っなれっ……っ♡
私の子宮、ぱんぱんになるまで吐き出しなれっ……っ♡
全部出せっ、いっぱい漏らせっ。

チンポっ、おチンポっ、ザー汁っ、いっぱいっ……っ♡
んあ、んう、あん、うん、あん、あんっ♡

ん、んあ、はあ、あふ、ふあっ……っ♡

あっあああ……っ♡

出せ、出せ、イケ、イケっ。出せ出せ出せ出せっ。

イケっ、イケっ、イケ、イケえええ……っ♡

うっうっうっ……っ♡

◆【効果音::射精】◆【効果音::セックス停止】

っあああ……っ♡んうあっ、あああっ。

どぶどぶっ、びゅびゅびゅっ……っ♡

濃いのが、出る……っ♡

どろどろのお、ゼリーみたいな精液い……っ♡

たっぷり、ぶっびゅっ……っ♡

はっ、はっ、はあああっ、ぐっぐっ……っ♡

ああ、美味しい……っ♡こんなに美味しい精液……っ♡

数百年生きて、初めてえ……っ♡

はぁ、はぁ、はぁ、はぁああ……っ♡

ふう、ふう、はぁ、ふうふう……っ♡

ふふ、ふふふふ……っ♡

人間界に来て、本当によかったわぁ……。

これからずっと……っ♡

ーこのザーメン、味わえるんだもの……っ♡

ねえ、お兄さん……っ？

ええ、そうよ……っ♡

これから、ずっととお……っ♡

ふふふふ……っ♡

5

母「◆【位置：正面・近距離】

ほっら……っ♡ はやく続き、しちやいまじょっ。

ようやく美味しい精液が食べられて、落ち着いてきたんだから……

…。

次はもう少し、楽しませてもらわないとね」

娘「◆【位置：正面・近距離】

んう？ もう無理？ おチンポ立たない？

あはっ、うそはよくないなあ。

まだまだキミのおチンポは元気いっぱいだってえ。

こうしてサキュバス二人に囲まれちゃってたら、

キンタマ空っぽになっちゃっても、

おチンポはムクムクして来ちゃうんだよ……っ♡」

母「あなたの身体にはもう、

私たちの体液やフェロモンがたっぷり染みこんじゃってる……っ♡

射精直後に一時的に萎えちゃうこととはあるだろうけど……。

ほっら、ほっら……。

ちよっと休憩してればすぐに、おチンポは大きくなってくる……っ

♡」

娘「そしたらまた、私たちとセックスしてえ……。

おチンポから愛液がどんどん染みこんで、

またキンタマ熱くなってきた、勃起、治まらなくて……。

あは……っ♡無限にハメハメできちゃうねえ。

無限に真つ白ザーメンお漏らしできちゃうよお。

ねえ、ザーメンタンクのお兄さん……っ♡「

母「頭でいくら拒否したところで、

おチンポイライラムラムしまくりで、

射精したくなっちゃって、止まらない……っ♡

私たちの側にいる限り、

私たちとのセックスからは逃げられない……っ♡「

娘「それでもちろん、逃がさない……っ♡

お兄さんは一生私たちのおまんこに、

精液中出するだけのオスになっちゃうの……っ♡

いい加減、理解したでしょ?」

母「だったらもう、サキュバスえっち、楽しまなきゃあ損でしょうっ?

ふふふ……。

ほうら……。わかったんなら、こっち、来て。

◆【移動：正面・バック用の位置】

また犯してあげようと思ったけど……。

そんなのこれから、いくらでも出来ちゃうからね。

今度はあなたの方からおチンポさせてあげる。

サキュバスまんこ、そのぶつといチンポで犯させてあげるわ。

ふふふ……っ♡」

娘「◆【移動：右耳・近距離】

ほうら、早くずっぴりしちゃいなよお。

ハメたくって仕方がないくせにさあ。

◆【囁き】

お兄さんとおチンポ、私たち二人とも、だあい好きだからあ……。

もしかしたら、そのおチンポに犯されるのも大好きになって、

ザーメンタンクかららぶらぶ人間彼氏にアップグレードできるか

もよっ？

逆にい、私たちの方が、お兄さん専用のサキュバスメス穴になっち
やってえ……。

お兄さんのザーメン受け止めるための、生オナホになっちゃうかも
よお……。

試してみなよ……。

「このまま黙って私たちの食料にされちゃうよりはさあ……っ♡」

母「◆【効果音::水音】

んっい……っ♡

あは、おチンポ熱っい……っ♡

ああ、犯されちゃう……っ♡

おまんこレイプされちゃう……っ♡

人間オスチンポで、おまんこぐちゅぐちゅ……っ♡

ザーメン性処理お便所にされちゃう……っ♡

◆【効果音::挿入】

ああっあああん……っ♡

やつああっ、はっあん……っ♡

おチンポ、かったあい……っ♡

◆【効果音:セックス・激しく 開始】

んっ、あっ、あう、んっ、んうっ、ひあ♡

っああ、んあう、んっく、くあ……っ♡

んうっんうあっ、はっあああああ……っ♡

あっ、あっ、すいっ、奥にっ、いっぽいっ……っ♡

ぶっといおチンポっ、一番奥っ。

子宮にまでっ、届いちやってえ……っ♡

んっ、あっ、あう、んっ、んうっ、ひあ♡

っああ、んあう、んっく、くあ……っ♡

んうっんうあっ、はっあああああ……っ♡

ああ、いいわっ、いいわあ……っ♡

もっとっ、もっとっ、いっぽいっ、おチンポじゅっぶっ……っ♡「♡

※喘ぎ声継続

娘「◆【移動:左耳・近距離】

ほうら、お兄さん……っ♡

おチンポがんばれ、おチンポがんばれえ……。

お母さんのおまんこ、チン落ちさせるには、

母「はあっ、んんあ、っくあ……っ♡

んうっ、ああん、うん、あんっ、あっ、んあ、ああ……っ♡

ひい、あはあ、ううあっ……っ♡

ああ、ん、んぶ、んあ、んう、あ、っああ……っ♡

んうううん……っ♡

おチンポ「じいじ……っ♡ おまんこっ、えへっ……っ♡

あ、ああっ、ん、んぶう、んっ、んあ、あん、んう……っ♡

んあ、ううぶ、うん、あは、あんっ、あんっ、あんっ♡

っあああ……っ♡ いいわっ、いいわっ。

とってもっ、くうううん……っ♡

こんなに硬いおチンポでっ、一番奥までっ、

どちゅどちゅっ、ハメられちゃったらあ……っ♡

はっあああん……っ♡

落ちちゃうっ、落ちちゃうっ。

「このおチンポ大好きになっちゃってえ……っ♡

もったくさんおまんこしてほしくなるう……っ♡

人間おチンポハメてもらわないと、生きていけなくなっちゃあう…

…っ♡

っあああん……っ♡

ん、んあ、あん、ああ、あん、ああ、んっ♡

んふ、んっふ、ああ、ああ、ああん、んあん……っ♡

あっはあ……っ♡

娘「◆【移動：右耳・近距離】

ほら、ほら、お母さんもああ言ってるよお……。

もっともおっとおチンポ強くしてえ……。

奥までずんずん、亀頭叩きつけなよお……。

子宮の入り口、ぐりって拡げて……。

精液が奥まで入っていくようにしてえ……。

一番奥に……熱いザーメン、びゅるびゅる、ぶっびゅ……。

サキュバスだつて孕ませられちゃうような、

濃厚子種汁がちまけてえ……っ♡

お母さんのこつマジイキさせちゃえ……っ♡

(耳舐め)

あん、れる、れろれろ、えろ、れろ、れる……♡

ほら、ほら、おチンポごっちゅん、おチンポごっちゅん……っ♡

子宮の入り口、おチンポキスして……っ♡

お母ちゃんのと落としちゃえ……っ♡

(耳舐め)

えろ、えろ、れろ、れる……、れる……えろ、れろ……♡」

母「んあっ、あんっ、あっ、んあ、ああんっ♡

ああ、んっ、うん、あんっ、あ、あっ、あんっ♡

やんっ、ああ、うあんっ♡

あん、うん、あん、あんっ、ん、んあ、はあ、あふ、ふあっ……♡

んっうああっ、いいわっ。あああっ、イック、イックう……っ♡

おまんこイッチやうっ。人間チンポでおまんこアクメっ。

強いのをちやうっ、気持ちいいの来ちやうっ。

人間チンポでイカされるっ。

サキユバスなのにつ、負けちゃう負けちゃうっ。

んうあっ、はあっあああん……っ♡

んっ、あっ、あっああんっ、はっあああ……っ♡

イクイクイクイクっ、いっぐ、んいっぐっう……っ♡

ううううんっ、はっああああああ……っ♡

イクから、出してっ。おまんこいっばいっ、中出してっ……っ♡

んっ、あんっ、ちようだいっ、精子っ。

赤ちゃん汁っ、いっぱいちょうだあい……っ♡

あっ、あっ、あっ、あっ、んっんあっ、はっあああ……っ♡

うっうっうっうっん……っ♡

◆【効果音:射精】◆【効果音:セックス停止】

※二人同時

母「絶頂」

んっああっああん……っ♡

はっああっ、んっうっあすっ。

んっうんっ、はっあああっ、あっ、んっ、やあああ……っ♡

ああ、ぐぐぐ、たぐたん……っ♡

精液出っ……っ♡♡♡……っ♡

はっあ、っあああああ「♡♡♡……」

娘「びゅーびゅーびゅー……っ♡

おちんぽびゅっびゅっ……っ♡♡♡……っ♡

ほらほら、せせ、せせ……っ♡

乳首っ……っ♡

最後まで出っ切っちゃえ……っ♡

びゅびゅびゅびゅ……っ♡

◆【囁き「JJ」まで】

母「っああ……っ♡

はあ、っはあ、っふう、はあああ……っ♡

ああ、おチンポ……っ♡ 気持ちいい……っ♡

人間チンポに中出ししてもらっの……っ♡

最高よお……っ♡ はあ、はあ、はあ……っ♡

ふうふう……っ♡

◆【効果音：ペニス引き抜く】

んっうん……っ♡「

娘「◆【移動：正面・下（フェラ用の距離）

」

っとお……っ♡

おチンポから残り汁、垂れてきちゃってる。

もったいなあい……。

(フェラ・吸う)

はあん、んう、ちゅっ、ちゅっ、んう……♡ んっ、ちゅ、ん、ちゅっ、
ぢゅ、ちゅ……♡

っはあ……。んふふ……。

せつかくの美味しい精液……♡

「ごしちやったらもったいないもんねえ」

母「◆【移動・右耳・近距離】

ふう、ふう……。ふふふ……。

◆【囁き】

たっぷり中出し、ありがとう……。

おかげで私、お腹も心もいっぱいになれちゃった……。

あなたのおチンポ、やっぱりすごく気持ちいい……。

何度もハメられちゃったら、本当に……。

離れられなくなっちゃうかも……。

だから……今度は、娘にも……ね？

ふふふ……」

娘「◆【移動：正面・バック用の位置】

はいどうぞ、お兄さん。

もうすっかりおまんこ慣れきった、

童貞卒業ヤリチンチンポでえ……。

サキュバスおまんこ、屈服させてえ……。

丸くてえつちなお尻鷲掴みにしてえ……。

オスの全力叩き込み交尾で、私のおまんこ、

ただのメスオナホに落としちゃえ……っ♡

◆【効果音：水音】

っあんっ、おチンポ、おつき……っ♡

◆【効果音：挿入】

はっあああん……っ♡

んっっっんっ、はっあああ……っ♡

はっ、ふっ、はっ、はっあああ……っ♡

◆【効果音:セックス・激しく 開始】

ああ、ん、んふ、んあ、んう、あ、っああ……♡

あ、ああっ、ん、んふう、んっ、んあ、あん、んう……っ♡

んあ、んふう、うう、うあ、あう、んう、んっ、へっ……♡

んんんう……♡ んっあああ♡ んっっっっ♡

っあああ……っ♡ 気持ちっ、いいい……っ♡「♡」

※喘ぎ声継続

母「ほっら、お兄さん……」。

そんなおチンポじゃあ、アスタルテは落とせないわよ……。

もっど強く、かつよく、たくましいおチンポで、

若いおまんこへぽへぽ犯すの……っ♡

「っっっっっ……乳首すりすり、っっっっいっばい甘やかしてあげるからあ……」。

おまんこ拡げて戻らなくなるべらいまでおチンポぶっこくしてえ

……。

中があなたのおチンポの形になるまで、

ばっちゅんばっちゅん犯しまくるの……っ♡

(耳舐め)

じゅ、れろ、れるれろ、はぁ、んふう……えろ、れる……じゅるる。

じゅっっ……♡

はぁ……っ♡

カリ首目一杯広げて、おまんこひだひだ、ぜえんぐ擦りあげるべら

い……っ♡

強いおチンポでおまんこ、突きまくっちゃってえ……っ♡

(耳舐め)

ちゅ、ちゅぱ、れる……んちゅ……ちゅるるるじゅ、るるるじゅへちゅへ

♡っ……じゅじゅ♡

「♡っ……んんんんん

娘「んあっ、ん、んあ、あん、ああ、あん、ああ、んっ♡

母 ◆【移動：左耳・近距離】

さあ、お兄さん……。あと一息よ……。

もう少しでアスタルテもあなたのおチンポの虜になっちゃう……。

ほら、ほら、もっと強く、もっと力いっぱい……っ♡

おまんこにおチンポ、叩きつけてえ……っ♡

(耳舐め)

んちゅ、ちゅる、じゅる、じゅるる、ちゅる、えろ……っ♡

イかせてあげて。

お兄さんのおチンポで、おまんこアクメ……。

イクイクイク、イックうって……っ♡

えっちな声たくさんあげさせて、おまんこぎゅっきゅっ締め付けて、

ザーメンぐぐぐ子宮で飲み干しちゃうよっな、

すごい絶頂、させてあげてえ……っ♡

(耳舐め)

あん、れる、れろれろ、えろ、れろ、れる……っ♡

ほら、ほら、お兄さんも。

おまんこ「屈服ザーメン出る。」

おまんこ「マーキング射精で、子宮いっぱい、真っ白に……っ♡
出せ、出せ、出しちゃえ出しちゃえ。」

イケ、イケ、チンポイケえ……っ♡「

娘「ゃん、あんっ、いや、あん、あんっ、あう、うんっ、あ、んっ♡

んっ、うん、あんっ、あ、あっ、あんっ♡

宇うううあっああああ……っ♡

イッグ、イッグっ、負けちゃう、負けちゃあう……っ♡

人間なんかにかイカされるっ。おまんこ「イッグっ。

おまんこ「落ちるう……っ♡ だめっ、だめえっ。

中出ししちゃダメっ。ザーメンびゅっぶん、ダメダメえ……っ♡

熱いの出されたら落ちるっ。

妊娠しちゃうっ、人間の赤ちゃん孕んじゃううう……っ♡

イグイグイグイグっ、んいっぐっ、くうううん……っ♡

っああっ、やっああああ……っ♡

はっあああんっ、んううああああ……っ♡

イッグううううううう……っ♡「

◆【効果音：射精】◆【効果音：セックス停止】

※二人同時

母「ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅ、ぴゅnennenっ……。

出る、出る、いっぱい出る、まだ出るまだ出る。

たっぷりお漏らし、気持ちいい……。

びゅーっ、びゅーっ、びゅん、びゅん、びゅっ……♡

ザーメン種付け気持ちいい……。

孕ませ射精気持ちいいねえ……。

んふふふふ……♡

◆【囁き「ニじまど」】

娘「（絶頂）」

っああっああっあああん……♡

んんんん、んっひっひっ。

出てっ、精子っ、どばどばっ、たくさん♡

あっついっ、重たい精子、お腹いっぱい……♡

孕むっ、孕むっ、孕んじゃうっ……♡

お兄さんの子供妊娠してえ……♡♡ママになっちゃあうっ……♡

んっあっ、はっあ、あ、うっうっうっあ……♡

娘「ふっ、ふっ、はっ、はっああ……っ♡

おチンポ、すっ♡……っ♡

ああ、お兄さんのおチンポに、中出しされるの……っ♡

おまん「マジで、感じまへっちやう……っ♡

はあ、はあ、はああ……っ♡

◆【効果音::ペニス引き抜く】

んっひいん？……っ♡「♡」

母「あは……っ♡

◆【移動::正面・下(フェラ用の距離)】

はあい……おチンポ残り汁、私も……。♡

(フェラ・吸っ)

んっ、ちゅっ、ちゅっっ、ちゅっ、んく、んっ、んちゅ、ちゅく、ちゅっ、
ちゅっちゅっ……♡

っはあ……っ♡

ふふふ……。最後の一滴まで、いただいちゃったあ。

ああ、美味しい……。

ふふふ……」

娘「◆【移動・右耳・近距離】

あは、お兄さん……っ♡おチンポ、すごいよお……。

こんなに気持ちいいセックスも、久しぶりい……っ♡」

母「◆【移動・左耳・近距離】

だから、もつとしましよ。

まだまだいっぱい、おチンポ交尾い……っ♡」

娘「はあ？ チン落ち？ なにそれ。あはっ。

サキユバスが人間なんかには負けるわけないでしょっ？」

母「もしかして、本気にしてたの？

そういうプレイっただけだったのに。

あは、かわいい人。

なら、今度は勘違いなんてしないよう……っ♡

徹底的に犯しまくってあげちゃうわね……っ♡「

娘「途中でへばったりなんてしないでよ？

夜はまだまだ、長いんだからさあ……っ♡

ふふふふふ……っ♡「

6

◆【効果音::ベッド軋む音】

母「◆【位置::正面・近距離】

はあい……っ♡ また騎乗位おまんこで、

おチンポ搾り取ってあげるう……っ♡

あはっ、もう無理だなんて……っ♡

嘘ついちゃダメって、さっき言ったでしょ……っ♡

おチンポはまだしっかりびんびん……っ♡

私たちの力で、強制的に勃起させられちゃってるんだから……っ♡」

娘「◆【移動：右耳・近距離】

観念しなつて、お兄さん。

お兄さんはこのままあ、私たちとおまんこしまくりでえ……っ♡
嫌でも何でも、射精させられちゃう運命なの。

キンタマからザー汁ぶっぱなすだけの生き物になっちゃうのお…

…っ♡

んふふ……っ♡」

母「さあ、入れるわよお……っ♡

おまんこにい、ずっぷり挿入……っ♡

◆【効果音：挿入】

あっああああ……っ♡

ああ、何度入れても気持ちいい……っ♡

私たちのおまんこにぴったりの、たくましいおチンポお……っ♡

んっっっん……っ♡

◆【効果音:セックス・激しく 開始】

はっあぁん……っ♡

ん、あん、はぁ、あぁん、うん♡

あんっ、あっ、んぁ、あぁんっ♡

んっうんぁ……っ♡

「♡っ♡ふふふふふふ……っ♡」

※喘ぎ声継続

娘「なんだかんだ言っけど、お兄さんも気持ちよめそうだよねえ。

イヤイヤ言っても、結局はね……っ♡

だけどお……。ふふふ……っ♡

ただ気持ちいいっただけじゃあ、面白くないよねっ。

ね、お母さん」

母「ええ……っ♡

だから、っっっっっっをっっちゃっの。

っの尻尾……

わっわ、んんんのローションを出せっっっっっっただけ……。

それ以外にもいろいろ、役割があるの。

例えばあ……。

(自分の尻尾にキス)

んゝ、ちゅつ。

っああん……っ♡ふふ……♡

こんな風に、サキュバスの尻尾って、結構な性感帯なの」

娘「男のお兄さんにわかりやすく言えば、

おチンポの亀頭ぐらいな感じ？」

普通にしてる分には平気だけど、たくさんいじくると、

ぞくぞくしちゃうんだ」

母「だからお兄さんには、私たちがおまんこしている間、

この尻尾を気持ちよくしてほしいの。

ふふ……。そんなこと言われても、って思ってる？」

こんなにがんがんおまんこ犯されてたら、何人もできない、って。

だけど、大丈夫……っ♡

あなたは実質、何にもしなくていいの……っ♡

だって、この尻尾はあ……っ♡うしちゃうからあ……っ♡「♡

娘「お兄さんのお尻の穴にい…………♡

お邪魔しまあす…………♡」♡

◆【効果音：挿入】

母「っああああ…………♡

お尻、すっごい…………♡♡

私の尻尾、きゅうきゅう締め付けてきてえ…………♡♡

はっあああん…………♡♡

◆【効果音：セックス・さらに激しく】

んっあっ、あああっ、すっごいっ、気持ちいいっ。

あなたのお尻っ、気持ちよすぎてっ、

おまんこピストンっ、速くなっちゃっ。

パンパンパンパン逆レイプっ、激しくしちゃっ…………♡♡

はっああん…………♡♡」♡

娘「すっごいねえ、お兄さん。

おチンポだけじゃあなくって、お尻の中まで、

お母さんと相性ぴったりなんだあ。

それなら私ともってことだよねえ……。

あは、私もしてもらうの、楽しみになってきちゃったなあ……♡
尻尾を中でうねうね動かしてえ……。

お兄さんのふわとろケツマン「味わい尽くしてえ……。

ついでお兄さんの前立腺「じりじりぐぐぐ押し潰して、

おチンポぞっくぞっくせちやうのがあ……♡」♡

母「ううううん……♡♡

おチンポっ、かったいつ、熱いつ、おつきすぎい……♡♡

ケツ穴ほじほじっ、前立腺責められてっ、

おチンポっ、今日で一番っ、ぱんぱんに膨らんじゃってえ……♡♡

ああ、あん、うん、うっふ、うん、あは、あんっ、あんっ、あんっ♡

ん、んあ、あん、ああ、あん、ああんっ♡

くうううあああ……♡♡

いいっ、いいっ、おまんこっ、ぐりゅぐりゅっ、えぐられろっ。

硬くてぶっといおチンポっ、騎乗位逆レイプするのっ、

たまんなあい……♡♡

んぶ、んっふ、ああ、ああ、ああん、んあん……♡

んっうあっ、あっふっ、おっ、んっお、んっうっ♡

はっああっあああ……っ♡

うっうああっ、んっいいいい……っ♡「♡」

娘「お尻が壊れる？」

おチンポおかしくなっちゃっ？..

あはっ、そうそう、その通り。よくわかったねえ。

お兄さんのおチンポ、ぶっ壊すつもりなんだよ。

私たちがいつでもザーメン美味しくいただけたいように……。

いつでもお腹いっぱいになれる、精液蛇口にするために……っ♡

おチンポもキンタマも、ついでにお尻もぶっ壊して、

精液垂れ流しになっちゃっようにしてるの。

だから、そんなこと言われても止めませえん。

おチンポもお尻も、犯しまくっちゃいまあす……っ♡

ほら、お母さん……っ♡「♡」

母「そういうことだから……っ♡ ほっら……っ♡」

んっうっうん……っ♡

おチンポまたっ、ビキビキっつ、ほっおう……っ♡

前立腺っ、ぶちゅっつて……っ♡

尻尾で潰してあげたらっ、こんなあ……っ♡

んいいい……っ♡ はっ、はっ、んっふう、はあああ……っ♡

はっ、はあっ、んっあっ、はあああ……っ♡

うっあっ、んっあああんっ、イッグ、イッグっ。

おまんこイグうっ。アクメ来ちゃううん……っ♡

はっあああ……っ♡

ほらっ、ほらっ、出しなさいっ。イキなさい……っ♡

あなたもおチンポっ、たっぷりイッてえ……っ♡

濃いのっ、いっぱいっ、熱いの出しちゃえ……っ♡

ザーメンたっぷり、また中出ししちやいなさい……っ♡

んうんあっ、はっああっ、んっううん……っ♡

んっああっ、イグイグっ、イッグっ、おまんこイッグっ。

おまんこひっぺううう……っ♡

んうんっ、くっうううん……っ♡

あっ、あっ、あっあああっ、っっっっ……っ♡

あっ、っっっっ、あっっっ、あっっっ、あっっっ、あっっっ、あっっっ、あっっっ、あっっっ……っ♡

◆【効果音::射精】◆【効果音::セックス 停止】

母「絶頂」

んっっっっっ、ああああああ……っ♡

っはあ……っ♡んふふ……っ♡

おまんこから抜けた瞬間、びゅるうって、ザーメン漏れたよ？

おまんこぬちゅうって抜けちゃうだけで、甘イキしちゃったんだね
え……。んふふ……っ♡

◆【移動：正面・近距離】

はいはあい、お兄さん。だからって、休む時間はないよ？

今度は私も、美味しいザーメン、食べさせてもらっから……。ねえっ。

◆【効果音：挿入】

んっうっうん……っ♡

っああ、おチンポ、いい……。っ♡

◆【効果音：セックス・激しく 開始】

んっ、んっ、んっ、んうう……っ♡

っふう、ふう、っはあ、はあ……っ♡

っはああ……。っ♡

あはっ、辛そっだねえ、お兄さん。

ま、だからってやめたりなんかしないけど……っ♡
ほっら、お尻で私の尻尾、気持ちよおく……っ♡「

母「待つて、アスタルテ。ふふ……。

ちよおっとお試し……っ♡

んうえあ……っ♡

(アナル舐め)

っはあ……っ♡お兄さんのお尻の穴……っ♡

食べさせてえ……っ♡「

※二人同時

母「アナル舐め・ループ」

「

娘「っああん……っ♡ちよっど、お母さん……っ♡

なんでそんなんっ、意地悪するのやあ……っ♡

自分はっ、散々……っ♡

お尻の穴で尻尾っ、気持ちよくしてもらったくせに……っ♡

んうっっ、あっああああ……っ♡

これでもおチンポっ、おっきくなつて……っ♡ っあああ……っ♡

おまんこ逆レイプっ、気持ちいいけどお……っ♡

あっ、んっあ、んうああ……っ♡ はああ……っ♡

あっく、んううう……っ♡

◆【効果音::射精】

娘「んっうあ……っ♡ー？

射精っ、出て……っ♡ー？ うっっ……っ♡

不意打ち中出し……っ♡これ、やつば……っ♡

っあああ……っ♡

いきなり美味しいのっ、子宮っ、ぐちこまれちゃったあ……っ♡

はっあ、はっあ、はっあああ……っ♡

んっひっひ……っ♡はっあ、はあ、はあああ……っ♡

母「ふふ、ふふ、ふふ……っ♡

お兄さんのおチンポ、もう壊れかけちゃってるみたいね。

ちよっとお尻刺激しちゃっただけで、どぴゅどぴゅお漏らしして⁸ぎちゃ

うなんて」

娘「それ確かめたかったってこと？」

それならそうと早く言うてよ、もう……っ♡

ふふ……っ♡

じゃあ、お兄さん？　そういうわけだから……っ♡

次で完璧におチンポ、ぶっ壊れると思うけど……。

ま、気にしないで、ザーメンぴゅっぴゅっのことだけ考えてて。

ほぅら……っ♡　お尻に尻尾お……っ♡

入れちゃうよ……っ♡

◆【効果音：挿入】

んっっっあああ……っ♡

お兄さんのお尻い……っ♡さいっお……っ♡

◆【効果音：セックス・さらに激しく】

んっひっっ、はああ……っ♡

あっ、っはあっ、んうっあっ、はああ……っ♡

っはあっ、っはああ……っ♡

あっ、あっ、んっあっ、はああ……っ♡

はっああああん……っ♡

なにっわっ、っの感触っ、やっはあ……っ♡

っあああ……っ♡おまんじきぐんぐん……っ♡

感じまへっちやっうっうっ……っ♡

んっ、あっ、あっ、あああ……っ♡

あっ、あっ、あっ、あっ、あああ……っ♡

はっあああ……っ♡「♡」

※喘ぎ声継続

母「◆【移動：左耳・近距離】

ふふふ……っ♡

前立腺、痛め付けすぎちゃったかしら。

でも、別にいいわよねっ。

射精するのは気持ちいいんだから……。

我慢できなくなっって、ザーメン垂れ流しになっちゃっっても……っ♡⁹¹

関係ないものねえ……っ♡」

娘「っはあっ、っはあっ、んんっはっ、ふうっ、っはあっ♡

ああああ……っ♡んっくうあ♡んっいっ……♡

はっ、ふう、はっ、はっ、はあっ、んうあああ……っ♡

んうあああっ、ああああっ、あっ、うああっ♡

はっ、はっ、っああっ、来るっ、来ちゃっっ。

おまんこイッグ、おまんこイッグ……っ♡

さっきの不意打ち射精のせいでっ、敏感でえ……っ♡

んっうっん……っ♡

ほら、お兄さんもっ、また出るんでしょ……っ♡

ぶっ壊れ蛇口チンポからっ、

びゅびゅびゅびゅびゅびゅびゅ……っ♡

出せ、出せ、出しちゃえ、出せえ……っ♡

イケ、イケ、チンポイケっ、チンポイケっ。

んっうっう……っ♡イグイグイグっ、くっうんっ、ひゅゅ

っう……っ♡

あっ、あっ、うっうあっ、んっうっうああああ……っ♡

◆【効果音::射精】◆【効果音::セックス 停止】

(絶頂)

んいいああああ……っ♡

んうううううんっ、ふああっああめめめ……っ♡

ううううう、ううへっ、ああっまた出てくるっ……っ♡

熱いのたくさん……っ♡ 中出し……っ♡

ああ、美味しい……っ♡

こんなに美味しいの、これくらいへんでも、

食べれちゃうなんてえ……っ♡

っはあ、っはあ、っはあ、ぶっっっ……っ♡

◆【効果音::ペニス引き抜く】

母「◆【移動::正面・下(フェラ用の距離)】

んっあ……っ♡

(フェラ・吸っ)

んっ、ちゅっ、ちゅっっ、んっ……♡ んっ、ちゅ、ん、ちゅっ、ちゅ、

ちゅ……♡

っはあ……っ♡あは、本当に……。

おまんこ引き抜くだけで、ザーメンとろおって……。

もうホントに、おチンポだめになっちゃったみたいね」

娘「へえ、そうなんだ。じゃあ……。

◆【移動：正面・下（フェラ用の距離）】

お掃除フェラなんてしてあげちゃっても……。

またおチンポ、イクイクゝってなっちゃうのかな？」

母「試してみましようか。

っああゝ……」

※二人同時

母「（フェラ・ゆっくり舐め）

あむ、ん、ちゅう、れる、えろ、んー……ちゅる、ちゅ
「♡

娘「（フェラ・ゆっくり舐め）

うん、れる……れろ、ぐちゅ、くちゅ、れろれろ……♡
「♡

母「んふふ……っ♡我慢汁、どろどろ溢れて……っ♡」

娘「お掃除なのに、おチンポ汚れまくりい……xっ」

※二人同時

母「フエラ・ゆっくり舐め」

あん、れる、れろろろ、えろ、れろ、れる……♡ちゅ、ちゅる、ちゅ、ちゅ……んふう……っ♡」

娘「フエラ・ゆっくり舐め」

はあ……あ、ん……れる、れろ……えろ……♡んう、ちゅ、えろ……んう、ちゅ、ん……っ♡」

◆【効果音:射精】

母「あっあんっ。ああ……っ♡

ホントにお漏らししちゃった」

娘「ぶっ壊れおチンポ、気持ちよそっだねえ。

んふふ……っ♡」

母「それなら、お兄さん……。

おかしくなったおチンポから、たっぷり搾りまくってあげるからね」

娘「大丈夫。人間は、このぐらいじゃあ死なないから。

死ねないまま、何度も何度も、イカされちゃうだけ……っ♡」

母「朝まで何発射精できるか、楽しみねえ。

さあ、それじゃあ始めましょう」

娘「二度とお腹ペーペーになんかならないようにっ♡……っ♡」

※二人同時

母「お兄さんのおチンポザーメン……。

いただきます……っ♡」

娘「お兄さんのおチンポザーメン……。

いただきます……っ♡」

特典

母「◆【位置::正面・中距離】

はあ……。今日もいい男、見つからなかった……。

人間界に來れば、精液飲み放題って聞いてたのに……。

ままならないわね」

娘「◆【位置::正面・中距離】

あーあ。こんなことになるんなら、

お母さんになんて着いてこなきゃよかった。

てかさ、このまま飢えて動けなくなる前に、

その辺にいる男、適当に引っかけちゃった方がいいんじゃない?」

母「そんなのダメ。

せつかくこんなところまで来たんだから……。

優秀で、質のいい精液を出せる男をちゃんと見つけて、

丁寧に調教してやらないと、もったいないもの」

娘「そうは言っけどわあ……。

ああ、だめ……。

お腹減りすぎて……おまんこ熱くなっちゃった……」

母「私もよ……。んっうん……。

◆【効果音:オナニー 開始】

はあ、はあ、んっはあ……っ♡「

娘「ちよつと、お母さん……っ♡

私より先にオナニー始めるなんて……っ♡

◆【効果音:オナニー 開始】

んっっっっん……っ♡「

※二人同時

母「あぁっ、んうぁぁぁ……っ♡ はっ、はぁっ♡

娘「はぁっ、はぁっ、んっぁ、ぁぁぁん……っ♡

※二人同時

母「あぁぁっ、ぁぁぁぁっ、っんんんっ♡

娘「あぁ、おまんこいじり、気持ちいい……っ♡

気持ちいい、けどぉ……っ♡

※二人同時

母「こんなじゃぁ全然、満足できないって……っ♡

わかってるのに……っ♡はっぁぁ……っ♡

娘「っぁぁっ、っんっ、んんっぁっんんいっ♡

※二人同時

母「あっ、ぁぁぁぁっ、ぁぁぁっんんっぁぁっ♡

娘「あんんっ、あっ、あっんんっ、っいっいっ♡

※二人同時

母「んっ、んんっっっっっっっ、っめっ、ぁぁぁぁぁんっ、んっ♡

あつ、あつ、つあああつ、んっ、ああああんっ♡」

娘「早く人間犯したい……っ♡」

早くザーメン搾り取って、奴隷にして……っ♡

新鮮ザー汁いつでも飲み放題の精液タンクにしたあい……っ♡」

※二人同時

母「お口にもおまんこにもお尻にも、

いつでも精液中出しさせ放題の、便利なオス奴隷……っ♡

早く、調教してやりたあい……っ♡」

娘「んっあああっんっ、んいっ、いっいっいっ……っ♡

いっあつ、んんんんっ、っっああっ♡」

※二人同時

母「んんんああんっ、あああっんんっ♡ んいっいっ♡」

娘「っああっ、んんんっ、っっっっ、うあっ、ああ……っ♡」

※二人同時

母「んうあつ、あつ、イクっ、イクっ。

こんなオナニーなんかでイクっ。

自分でおまんこいじくって、イク、イクっ。

あっあああ……っ♡」

娘「ああっ、イツちゃっっ。

おまんこオナニーでイクっ。

イキたくないのになっ、うっうっあっ、

イツクうっ……っ♡」

※二人同時

母「絶頂」

はああっああああ……っ♡

んううんああんっ、はっあああ……っ♡」

娘「絶頂」

んうあっ、あっあああっ、

んっ、くっ、はっあんっ、ぶっうっ……っ♡」

※二人同時

母「はあ、ふう、はあ、はあ、んうあ、はあ……っ♡」

娘「ふう、ふう、ふう、ふう、ふう……っ♡」

母「ああ……。なんてみじめな……。

いくら男が見つかからないからって、

親子でオナニーしちゃうなんて……」

娘「早くいい男見つけないと……」。

……ん？

(嗅ぐ)

すんすん……。

なんか、いい匂いする……。

あっちの方からだ……。

お母さん、先にホテルに戻ってて。

私……ちよつと、行ってみるから。

この匂いの元……っ、絶対見つけ出してやる……っ」